

平成21年度第7回
公立大学法人公立はこだて未来大学教育研究審議会議事録

- 1 日 時 平成21年10月9日(金) 15:00～17:00
- 2 場 所 公立はこだて未来大学4階特別応接室
- 3 出席者
委 員：中島学長(議長), 小西副学長(理事), 岩田副理事長, 西濱事務局長(理事), 三木研究科長, 上野複雑系科学科長, 高橋情報アーキテクチャ学科長, 三上共同研究センター長, 美馬メタ学習センター長, 川嶋評価委員長, 佐藤教務委員長, 岡本学生委員長
事務局：村重複雑系科学コース長, 片桐知能システムコース長, 美馬准教授, 学術連携室・沼田講師, 鶴喰企画総務課長, 和久井財務・研究支援課長, 松塚教務課長
- 4 議 事
 - (1) 審議事項
 - ① 入試における新型インフルエンザ対策について
 - ・片桐入試委員長から, 11月に実施予定のAO入試および推薦入試に関し, 新型インフルエンザ罹患者等への対応として追試験を実施することについて説明があった。審議の結果, 教授会の場において追試験の可否を審議するのでは時間がかかり過ぎてしまうため, 可否判定を入試委員会に一任することおよび新型インフルエンザに罹患している構成員を除いた構成員の過半数の出席を教授会の成立要件とすることについて次回の教授会に諮ることとした。その他については, 原案どおりに了承された。
 - ② 教員に対する厳重注意について
 - ・事務局(企画総務課長)から, 学内基本メーリングシステムの利用ガイドラインから逸脱した行為を続ける教員に対し, 文書にて厳重注意する旨の説明があり, 原案どおりに了承された。
 - (2) 報告事項
 - ① H22年度のカリキュラムの検討経過について
 - ・佐藤教務委員長から, 教務委員会でのこれまでの審議経過とカリキュラムの編成方針について報告があった。これに対し, 開講科目数および必修科目の削減数に係る各コースへの割り当てについて議論があったが, 教育研究審議会としては, 教育に係る教員の負担を現状以上に増やさないというカリキュラムの編成方針を確認し, そのための具体的な削減方法については教務委員会の調整に委ねることとした。
 - ② 学内研究費の二次募集について
 - ・小西副学長から, 公募した学内研究費の二次募集について審査を行い, 交付を決定した旨の報告があった。

③ 教員選考について

- ・高橋情報アーキテクチャ学科長から、それぞれ9月末日までの公募期間中に、複雑系知能学分野に61名およびコンピュータ科学分野に23名の応募があった旨の報告があった。

④ 科研費申請に向けた取組みについて

- ・小西副学長から、教員に対し、科研費申請への積極的な取組みを促すよう説明があった。

⑤ 平成21年度公立はこだて未来大学学内合同企業説明会の実施について

- ・事務局（教務課長）から、12月14日から18日までの期間に開催する企業説明会の内容について説明があった。

⑥ チューリッヒ芸術大学への留学生について

- ・学術連携室（沼田講師）から、学術交流協定を締結しているチューリッヒ芸術大学に2名の学生が留学を希望しており、両名について同大への出願を行った旨の報告があった。これに対し、単位認定に関する質疑があり、留学における成果物を帰国後、学生が所属する各コースにおいて判断し、認定の判断がなされるとの回答があった。また、学生への留学情報の提供手法や時期などについて、これから整備が必要ではないかとの意見があった。

(3) その他

① 各コースにおける就職対策について

- ・小西副学長から、就職が内定していない就職希望の学生の現状把握、今後の進路相談等のため、まずは当該学生の卒研の指導教員が学生との面談を実施し、各コースにおいて集約するように説明があった。

② キャンパス・セクシュアル・ハラスメント防止等研修会の実施について

- ・事務局（企画総務課長）から、研修会として学内において講演を実施する旨の報告があった。これに対し、講演以外にも広く参加者を集める手法について検討や工夫が必要ではないかとの意見があった。

③ 教員の負荷軽減について

- ・岩田副理事長から、次回教育研究審議会において、委員会活動の見直しや学校・企業訪問に係る各教員間の負担平準化など、教員の負担軽減について提案する予定であるとの説明があった。